

令和 2 (2020)年度
FD・SD 活動報告書

大阪河崎リハビリテーション大学
FD・SD 委員会

目 次

はじめに	2
活動の概要	3
1. 令和2年度FD・SDへの取り組み理念・目的	3
2. FD・SD活動の組織・体制	3
3. 活動実績	3
4. FD・SD研修会記録	6
5. 授業評価アンケート分析結果	15
FD・SD委員会規程	22

《はじめに》

本学を取り巻く状況は大変厳しい中、大学として最も重要な教育とそれを支える教職員の教育法や資質向上、情報交換のために、令和2年度も多数のご協力を得てFD・SD活動を行いました。その活動を報告書としてまとめました。各層で有意義にご活用頂ければ幸いです。

本学では平成19年度より開講される授業について、受講者による評価を開始しました。本年度も、学生の皆さんと、非常勤をお願いしている先生方も含めた担当教員の多大なるご協力を得て、事務方には各授業に対する取りまとめを含め大変な作業をしていただき、本資料の後半部にまとめることができました。関係の皆さんに厚く御礼申し上げる次第であります。

授業評価のねらいは、本学で行われるもっとも重要な教育活動である授業を、少しでもより良いものに向き上げていくことであります。そのために、実際に授業を受ける立場である学生諸君に積極的な評価をお願いしています。

授業評価は今年度から今までに頂いた意見を基に評価項目を見直したうえで、実施方法についてはMicrosoft office365のFormsを使用し、各教員から配信する方法に切り替えました。これにより、学生の回答は教員にリアルタイムで届くことになり、より迅速なフィードバックが行える体制になりました。その反面、新たな実施方法についての情報共有が十分ではなかったこともあり、調査の実施件数及び回答集約が例年よりも少ない結果となりました。次年度は改善に向けて実施方法の見直しや配信方法に関する学内研修を実施したいと考えています。授業評価の結果について現段階では、諸般の事情を鑑み、各科目別集計結果をそのまま公表するところまでは踏み込んでいません。各担当の先生方には、個別に、自らの授業設計や講義運営についての忌憚のない評価結果を、まずはこの報告書にもある全体平均と比べながらご判断いただいています。その上で、学生さんへの授業の受け取られ方を、各項目が示している様々な面から自己評価して、今以上に工夫してより良い授業を行うように自己研鑽に励んでいただいています。

授業評価を行うことで少しずつではありますが有意義な効果が出ているものと思われまふ。もちろん、評価する側の学生にとっても、授業への取り組みを今一度真剣に考える機会になっていることを期待しています。今後教員による相互評価も含め、各種検討課題を考慮しながら、授業評価をかさねることで、先生方による本学の開設授業がいずれもすばらしいものにさらに向上発展していくこと、授業を受ける学生諸君が、よりよい授業に触れて素晴らしい療法士に育ってくれることを、FD・SD委員会を代表して切に願うものであります。

2021年5月

FD・SD委員会 委員長 坪田裕司

活動の概要

1. 令和2年度FD・SDへの取り組み理念・目的

建学の精神「夢と大慈大悲」、教育理念「知育と人間性を育む」を達成するために、FD・SD活動を通じて教育・研究活動等を活性化させる。

大学全入時代に突入し、本学学生が学力不足であることは否めない。専門にとらわれず、大学生として（あるいはセラピストとして）求められる基礎的な学習技能や学修態度（倫理的思考、批判的思考）について大学教育を通じて培う必要がある。

そのため、教職員の教育・研究活動等の能力向上を図る必要がある。FD・SD研修や授業評価等を行い、授業の内容及び方法の改善等を目的とする。

以上の理念・目的から、教職員は本研修に必ず参加することとする。

2. FD・SD活動の組織・体制

FD・SD委員会を中心に実施し、各種委員会と適宜連携して取り組む。

3. 活動実績

(1) FD・SD研修会

令和2年度は以下のテーマで全8回のFD・SD研修会を開催した。欠席者に対しては、研修内容の動画の配信及び資料の配布によるフォローアップを行った。

2020 年度 FD・SD 研修会実績

回	日程	テーマ	参加者数
第 1 回	4 月 14 日	■ 理事長挨拶 ■ 建学の精神と事業計画（武田学長） ■ 新型コロナウイルス感染症予防対策における大学の対応について（各委員会） ■ 授業評価アンケート変更案について（FD・SD 委員会） ■ 新任教職員紹介	教員 35 人 職員 28 人
第 2 回	5 月 14 日	■ 働き方改革関連法案の概要等説明 ■ Office365 を使用した遠隔授業の事例紹介	教員 33 人 職員 5 人
第 3 回	6 月 9 日	■ 前期授業スケジュールについて（教務委員会） ■ 研究発表（新任教員 5 名） ■ 授業評価フィードバック（FD・SD 委員会）	教員 29 人 職員 15 人
第 4 回	8 月 25 日	■ 研究発表 （新任教員 1 名・2019 学長裁量経費採択者 5 名）	教員 28 人 職員 15 人
第 5 回	9 月 15 日	■ コンプライアンス教育（事務局長） ■ 研究倫理教育（研究倫理委員会） ■ 科研費説明（総務課長） ■ 遠隔会議・授業等 操作説明入門編（FD・SD 委員会）	教員 27 人 職員 20 人
第 6 回	10 月・11 月 自己研修	■ アクティブラーニング（FD・SD 委員会）	教員 27 人
第 7 回	12 月～～ 動画研修	■ シラバス作成（教務委員会）	教員 26 人
第 8 回	3 月 23 日	■ 21 卒募集振返りと 22 卒募集戦略について（リクルートマーケティングパートナーズ広報委員会）	教員 38 名 職員 29 名

(2) 関西地区 FD 連絡協議会等、外部研修

① 第 13 回総会出席

日時：令和 2 年 7 月 18 日（土）

場所：オンライン出席

出席者：坪田 FD・SD 委員長

② その他各種研修会・研究会への参加

(3) 学生による授業評価アンケート

① 対象授業科目

以下の科目を除く全科目を対象に実施

（基礎ゼミ、臨床見学実習、臨床実習概論、臨床検査・測定実習、臨床基礎実習、臨床総合実習Ⅰ、臨床評価実習、臨床総合実習Ⅱ、臨床総合実習、卒業研究、卒業論文）

② 実施時期、方法

期末、web 形式で実施

③ アンケート項目

質問票参照

④ フィードバック

個別フィードバック及び FD・SD 研修会による全体のフィードバック

⑤ 回収率

前期：35.25% 後期：39.60%

回答率

前期：51.49% 後期：57.40%

⑥ 各分析結果

「5. 授業評価アンケート分析結果」参照

4. FD・SD 研修会記録

研修会名	2020 年度 第 1 回 FD・SD 研修会
実施日時	2020 年 4 月 14 日（火）10：40～12：10
場所	1 号館 3 階 大講義室
出席者	【教員】33 名 【職員】17 名 小計 50 名 個別説明 【教員】2 名 【職員】11 名 小計 19 名 合計【教員】35 名 【職員】28 名

研修形式と内容	講師	研修記録（概要）
講話	河崎理事長	建学の精神及び本学の目標について説明があった。
建学の精神と事業計画	武田学長	資料に沿って 2020 年度の目標と事業計画の説明があった。
新型コロナウイルス感染症予防対策における大学の対応について	中村教務委員長	〈遠隔・課題授業について〉 資料に沿って遠隔授業の実施状況について説明があった。
	上島臨床実習委員長	〈臨床実習の対応について〉 資料に沿ってコロナ禍における臨床実習について説明があった。
	中村広報委員長	〈学生募集広報について〉 表題について説明があった。
	坪田 FD・SD 委員長	〈desknet's を利用した事例紹介〉 資料に沿って、遠隔授業に活用できる desknet's 機能及び office365teams について説明があった。
授業評価アンケート変更案について	坪田 FD・SD 委員長	資料に沿って授業評価アンケートの実施方法を変更する説明があった。
新任教職員紹介		2020 年 4 月着任の教職員の紹介があった。

【配布資料】

- ・ 2020（令和 2）年度事業計画の概要
- ・ 遠隔・課題授業について
- ・ FD・SD：臨床実習関連
- ・ 新型コロナウイルス感染症予防対策における本学の対応について
- ・ 活用できる ICT 環境の紹介 活用事例 授業評価アンケート
- ・ Office365 教職員向け 操作手順

研修会名	2020 年度 第 2 回 FD・SD 研修会
実施日時	2020 年 5 月 14 日（木）13：00~14：30
場所	1 号館 3 階 大講義室 + オンライン研修
出席者	【教員】33 名 【職員】5 名

研修形式と内容	講師	研修記録（概要）
Office365 を使用した遠隔授業の事例紹介	今岡先生	遠隔授業に使用する Office365 の機能説明及び Google フォームを使用した小テストの実施方法について、スライドをもとに説明があった。
	大竈先生	Office365 stream の機能説明と PowerPoint を使用した動画作成方法及び動画アップロード方法についてスライドをもとに説明があった。

【配布資料】 なし

研修会名	2020 年度 第 3 回 FD・SD 研修会
実施日時	2020 年 6 月 9 日（火）10：40~12：10
場所	1 号館 4 階 第 2 中講義室 + オンライン研修
出席者	【教員】38 名 【職員】28 名 (動画配信での自己研修含む)

研修形式と内容	講師	研修記録（概要）
前期授業スケジュールについて (新型コロナウイルス対策)	中西 学務係長	資料に沿って今後の授業スケジュールについて説明があった。
2020 年着任教員 自己紹介を含めた研究発表について	OT 大類先生	個性と作業療法と私
	ST 松尾先生	これまでの経歴とこれからの抱負について
	PT 後藤先生	今までの教育・研究と本学での抱負
	PT 峰久先生	自己紹介と今後の抱負について
	PT 大籠先生	西へ東へ、分子から個体へ
2019 年度後期授業評価アンケート	FD・SD 委員長	後日 Streams で動画を配信し、各教員が自己研修を行うこととした。

【配布資料】 2020 年度 前期アカデミックカレンダー 2020 年度 前期授業スケジュールについて
--

研修会名	2020 年度 第 4 回 FD・SD 研修会
実施日時	2020 年 8 月 25 日（火）10：40～12：10
場所	1 号館 4 階 第 2 中講義室
出席者	【教員】38 名 【職員】28 名 (動画配信での自己研修含む)

研修形式と内容	講師	研修記録（概要）
2020 年着任教員 自己紹介を含めた研究発表	OT 井上先生	『自己紹介と今後の抱負』
2019 年度採択分学長裁量 経費による研究発表	PT 肥田先生	『マーカレスなデジタル画像を用いた円背測定手法の開発経過』
	PT 今井先生	『慢性腰痛患者に対する Virtual Reality 技術を用いたリハビリテーションの確立』
	ST 芦塚先生	『認知症患者の睡眠測定について』
	OT 南先生	『脳性麻痺に対する重度片麻痺上肢の電気刺激による改善効果』
	PT 今岡先生	『貝塚市における「つげさん認知症予防ボランティアスタッフ」養成講座』

【配布資料】 なし

研修会名	2020 年度 第 5 回 FD・SD 研修会
実施日時	2020 年 9 月 15 日（火）10：40～12：10
場所	1 号館 4 階 第 2 中講義室
出席者	【教員】38 名 【職員】29 名 (動画配信での自己研修含む)

研修形式と内容	講師	研修記録（概要）
科学研究費補助金説明	佐波 総務課長	資料をもとに「科学研究費助成事業」について説明があった。
研究倫理教育	園田庶務係員 中村研究倫理 審査委員長	資料をもとに研究倫理教育について研修し、研修後に Foams を利用して小テストを実施した。
コンプライアンス教育	喜田事務局長	資料をもとに「コンプライアンス教育」について説明があった。
遠隔授業・会議等操作説明 入門編	坪田 FD・SD 委員長	遠隔講義について方法等の説明があった。

【配布資料】 ・ 2020 年度コンプライアンス教育 理解度アンケート ・ 誓約書 ・ 科学研究費助成事業について ・ 研究倫理教育について ・ コンプライアンス教育・研修 ・ 遠隔講義作成入門

研修会名	2020 年度 第 6 回 FD・SD 研修会
実施日時	2020 年 10 月～11 月
場所	オンライン開催
出席者	【教員】27 名

研修形式と内容	講師	研修記録（概要）
アクティブラーニングについて オンライン研修 《自己研修》	FD・SD 委員	教員に対し、アクティブラーニングに関する動画または書籍（FD・SD 委員会指定）を視聴のうえ、Foams にその結果を回答するよう促した。Foams の回答数を出席者数とした。

【配布資料】 なし

研修会名	2020 年度 第 7 回 FD・SD 研修会
実施日時	2020 年 12 月 15 日～随時
場所	オンライン開催
出席者	動画視聴回数 26 回

研修形式と内容	講師	研修記録（概要）
シラバス作成について 《26 分 55 秒》 オンライン研修 《自己研修》	中西 学務係長	教員は各自で stream にアップロードされている次年度シラバス記入要領の説明動画を視聴のうえ、その内容を踏まえてシラバス作成に取り組む。

【配布資料】 ・ 令和 3 年度_FD 研修会_シラバス作成について
--

研修会名	2020 年度 第 8 回 FD・SD 研修会
実施日時	2021 年 3 月 23 日（火）10：40～12：10
場所	1 号館 3 階 大講義室
出席者	【教員】38 名 【職員】29 名 《ハイブリッド開催・動画配信での自己研修を含む》

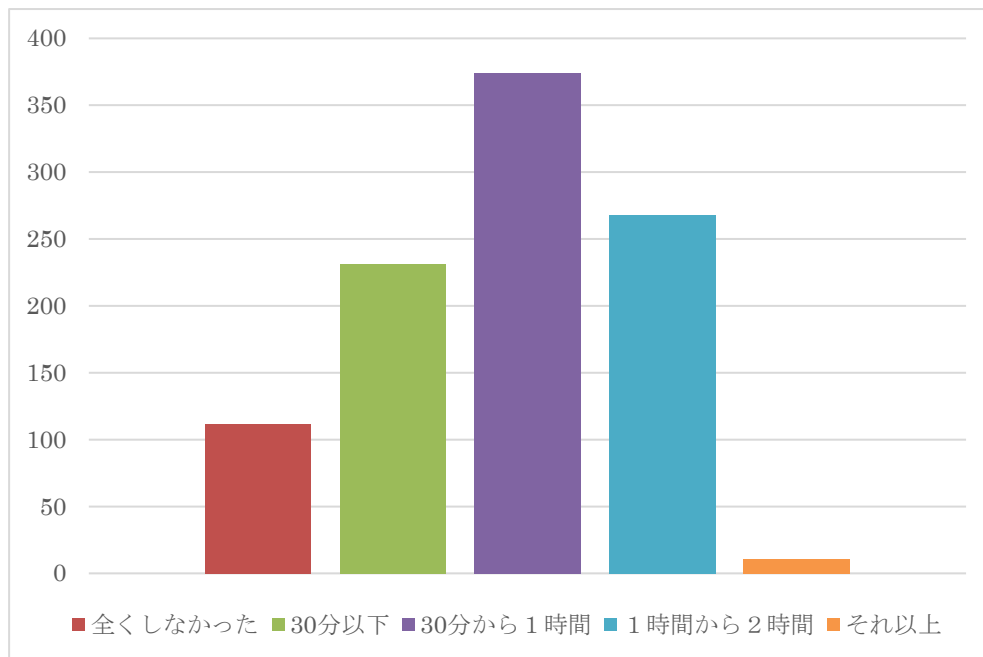
研修形式と内容	講師	研修記録（概要）
中長期募集力を高めるために 21 卒募集振返りと 22 卒募集戦略について	（株）リクルートマーケティングパートナーズ 広報委員会	（株）リクルートマーケティングパートナーズ担当者 3 名が来学し資料をもとに「本学の広報活動と関西のマーケット状況」について講演があった。

【配布資料】 ・ 21 卒募集振返りと関西マーケットの今年度入試状況ご報告

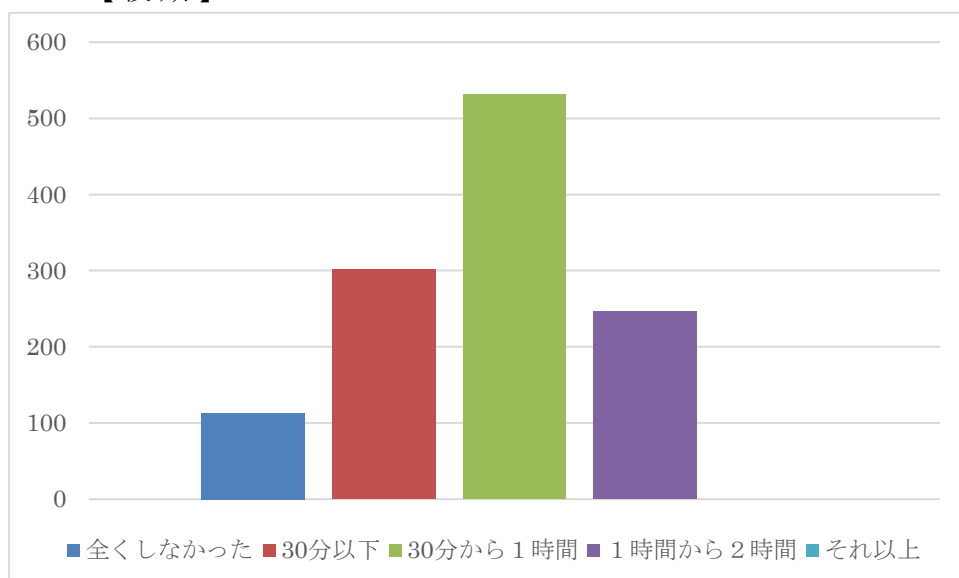
5. 授業評価アンケート分析結果

1. この授業の予習・復習・レポートの作成等に1週間で何時間取り組みましたか。

【前期】

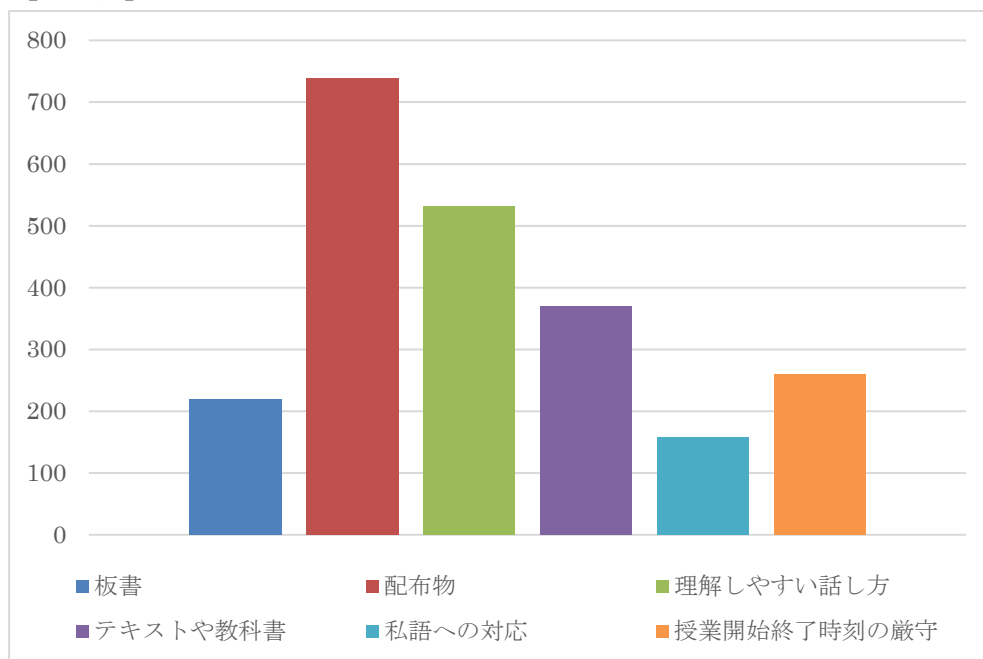


【後期】

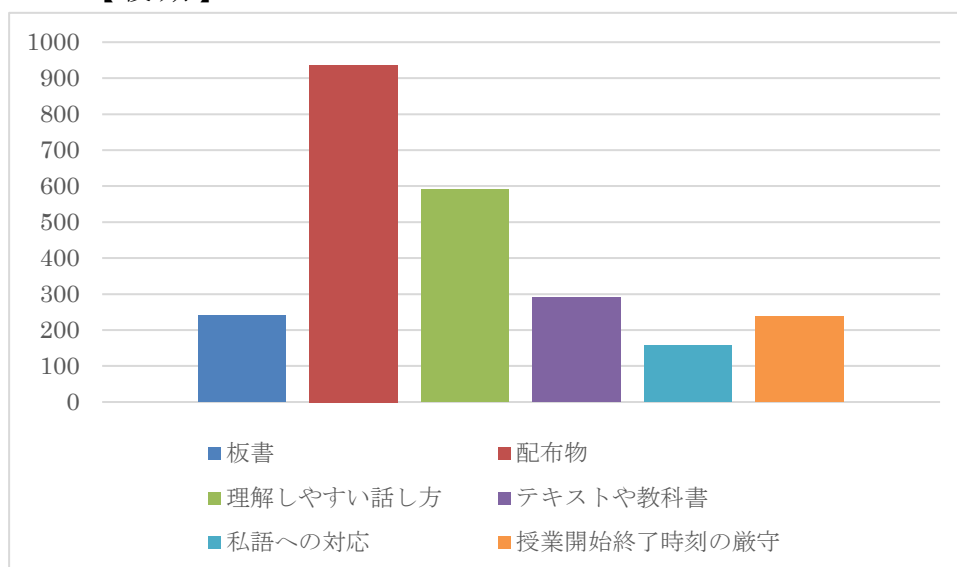


2. この授業で良かった点を全て選んでください。

【前期】

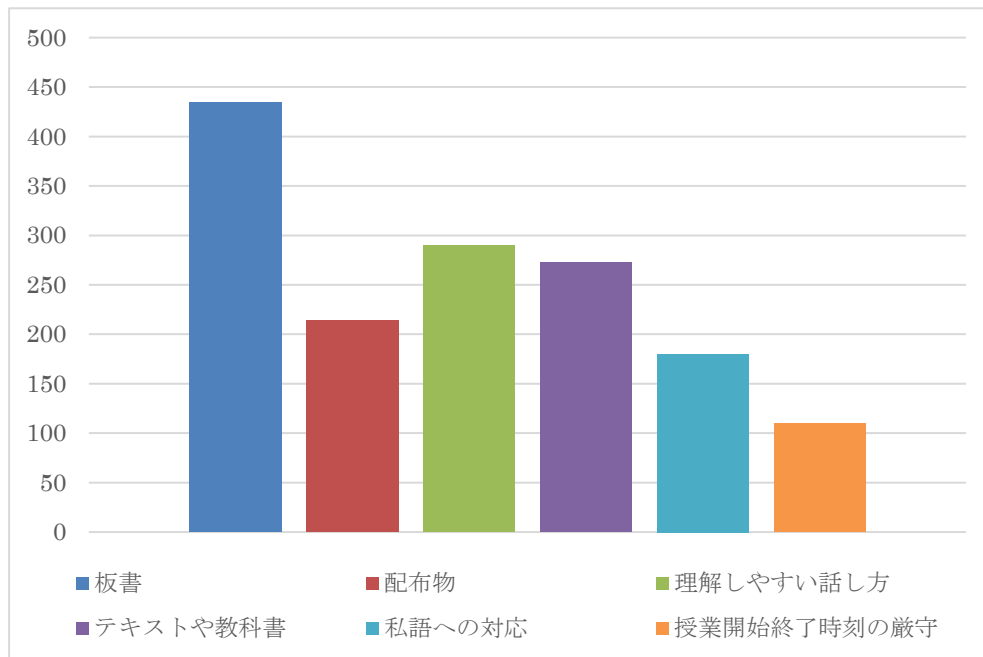


【後期】

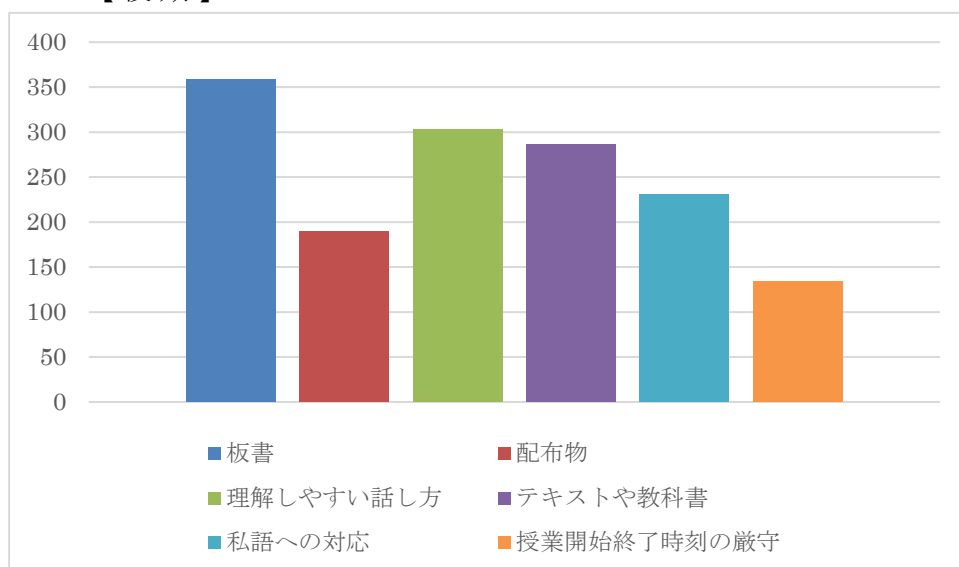


3. この授業で改善してほしい点を全て選んでください。

【前期】

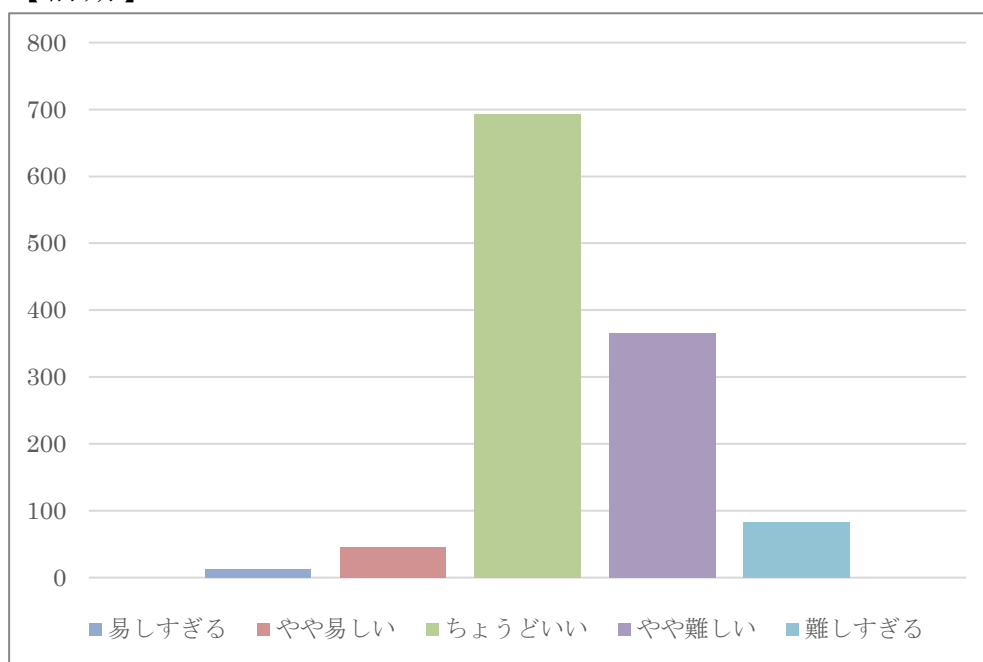


【後期】

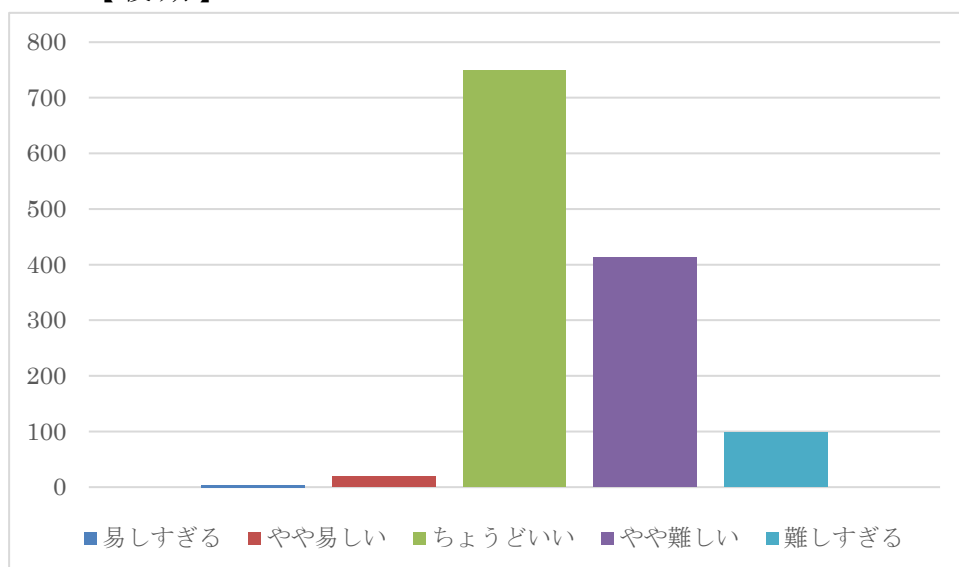


4. 授業の難易度は適切で理解可能な範囲でしたか。

【前期】

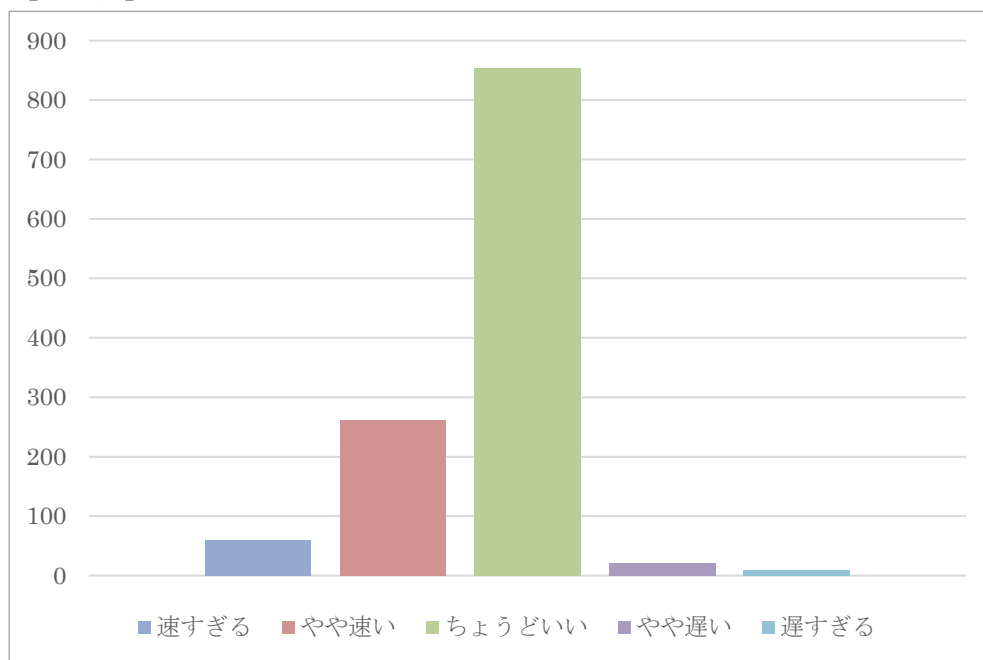


【後期】

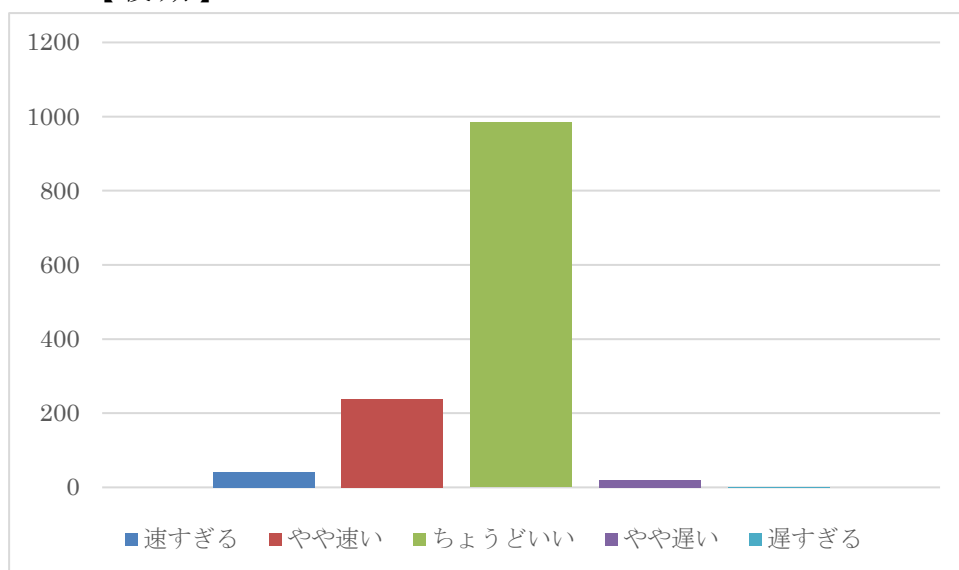


5. 授業の進度は適切でしたか

【前期】

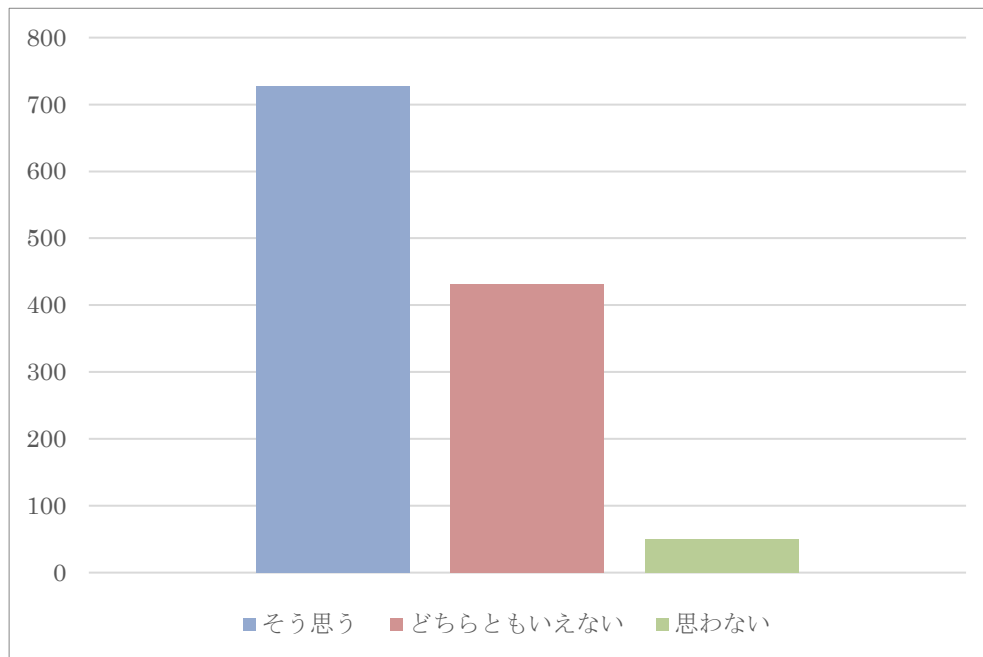


【後期】

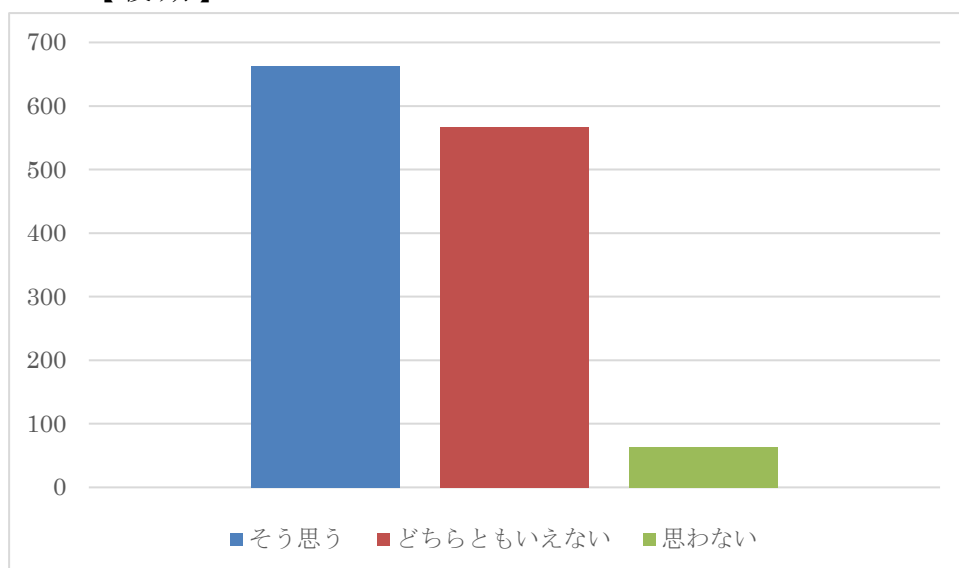


6. 教員は学生に授業への参加（質問・発言・自主的学習）を促し、質問や討論に十分に対応していましたか。

【前期】



【後期】



7. その他コメントや感想を記入してください。

内 容	前 期	後 期
肯定的意見等	344 件	341 件
改善要望等	177 件	107 件

平成 29 年 9 月 19 日
大学規程第 5 号

(設置)

第 1 条 大阪河崎リハビリテーション大学（以下「本学」という。）

は、本学の建学の精神及び教育理念の実現に向け、ファカルティ・ディベロップメント（以下「FD」という。）及びスタッフ・ディベロップメント（以下「SD」という。）を積極的に推進するために、FD・SD 委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(目的)

第 2 条 委員会は、本学の教育・研究内容及び教育方法の向上及び教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るための教職員の能力並びに資質向上のため、全学的な取組みを推進することを目的とする。

(組織)

第 3 条 委員会は次の構成員で組織する。

(1) 学長が任命した者 5 名程度（各専攻の教員 1 名以上を含む）

(2) 事務職員 若干名

2 事務職員は、学長、事務局長の協議に基づき、学長が指名する。

3 委員の任期は 2 年とし、再任を妨げない。

4 委員に欠員が生じた場合は、これを補充しなければならない。ただし、後任者の任期は前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第 4 条 委員会に、委員長及び副委員長を置く。

2 委員長及び副委員長は委員の中から学長が指名する。

3 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

4 委員長に事故又は支障があるときは、副委員長がその職務を代行する。

5 委員長が必要と認めた場合は、委員以外の教職員の出席を求め、意見を聴取することができる。

6 委員長は重要な事項については教授会に提案し、了承を求めなければならない。

(協議事項)

第5条 委員会は、次の事項を協議する。

(1) FD・SD研修の企画・実施

(2) 学生による授業評価の結果分析及びフィードバックに関すること

(3) FD・SD活動に関する情報の収集と提供に関すること

(4) その他FD・SDの推進に関すること

2 前号第1号に規定するFD・SD研修の実施に当たり、委員は講師候補者推薦書(様式第1号)を委員長に提出することができる。

(会議)

第6条 委員会は、委員の3分の2以上の出席がなければ会議を開くことができない。

2 議決を要する事項については、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

(事務)

第7条 委員会の事務は、庶務係が行う。

(改廃)

第8条 この規程の改廃は、教授会に諮り、学長が行う。

(補則)

第9条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が定める。

附 則

1 この規程は、平成29年10月1日から施行する。

2 この規程の施行に伴い、平成17年12月5日施行の「大阪河崎リハビリテーション大学ファカルティ・ディベロップメント委員会規程」は、廃止する。

附 則(平成31年3月25日大学規程第31号)

この規程は、平成31年4月1日から施行する。

附 則(令和3年3月16日大学規程第15号)

この規程は、令和3年3月16日から施行する。